
CHAOS!!

狛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

CHAOS!!

【Nコード】

N8319Y

【作者名】

狛

【あらすじ】

元番長でヤンキーだった黒崎真冬（ ）、現不良でツンデレな早坂、俺様何様鷹臣様の佐伯鷹臣、忍んでる由井忍、思考メルヘンな緑川学園の番長・桶川響太郎。その他もろもろ、気付いたらBLEACHの世界へ。巻き込みつつ巻き込まれる派茶目茶ストーリー！（たぶん！）俺様ティーチャー×BLEACHのクロスオーバー小説です。

#1・始まり（前書き）

突発的に書きたくなりました。

ゆっくり書いていこうと思います（^^）

ギャグセンは低いのでご注意を！

#1・始まり

拝啓、母上様。

一人暮らし始めて、ようやく朝食を作れるようになってきたこの頃です。

「続いては今日の占いカウントダウン!!」

朝七時ジャスト。

テレビの前に朝食をセッカップラーメンとして、画面に食い入る。

「今日のワースト1は射手座のあなた!ミラクルが起きすぎて全体的に不幸な日。刃物と袴に注意して下さい」

ぼろっと箸が口から落ちた。

「注意って……どう注意すればいいのさ……」

キンコーンカーンコーン

朝の不吉(?)な占いから、学校に来てボーっとしてたらいつの間にかお昼休み。

椅子に座りすぎてお尻が痛いな なんちて。

とりあえず、マイフレンドの早坂くんに占いのことを相談してみる。

「そりゃ、手を切らねーよーにすりゃいいんじゃないかねーの?」

早坂くんは金パで不良のくせして、実はすごい生真面目さん。

私より頭がいいなんてちょっとジェラシー。

「じゃ、じゃあ袴は!?!」

「剣道部に注意とか」

「なるほど!」

なんかあれだね。こういう会話、ザ・女子高生！みたいな！

やんちゃ（番長）してた頃なんか、会話が

『真冬さん！西校が攻めてきた！』

『真冬さん！桜田のパンツウサギでした！』

『真冬さん！ぜひ縛ってください！それはもうきつくー！』

な感じだったしねえ。

ちなみに真冬は私で、桜田ってのは西校の番長ね。

私が見たのはハートのパンツだったなあ。

「あ、そーだ。佐伯が、今日の部活は外に行くって」

「なんで？」

佐伯センセー、もとい佐伯鷹臣は我等が顧問、かつ私の幼なじみ。

私がやんちゃするようになったのって全部この人が原因で。

鷹臣くん、学生時代は番長で関東統一してました。

そして、私達が入ってる部活っていうのは……

「それはもちろん俺のことも呼んでくれるだろうなあ!？」

「由井、いたのか」

「忍者どっから出てきたの!？」

「ふっ……俺にかかればこんなのちょちょいのちょいさ!！」

「いや、校舎改造しちゃうまいだろ」

……うん、私達、風紀部。

この眼鏡かけた残念な人が由井忍って忍者野郎で。

とにかく神出鬼没。

キンコーンカーンコーン……

「あ、トイレ行くの忘れた」

「」……「」

あつという間に放課後！

学校から出て、私、早坂くん、鷹臣くん、忍者の順に並んで歩きます。

「ねえ、今日は何するの？」

「あ？警察に行くんだよ」

け、警察だと……！！？

「鷹臣くん何しでかしたの！？人！？人殺したの！？」

「それで鷹臣くん！暗殺はどのように行っ たんだい！？」

「いいから黙ろうか」

鷹臣くんに殴られる。

ゴツン、というかゴキヤツみたいな音。

小さい頃から殴られ慣れてるけどやっぱ痛いよ！！

忍者もゴロゴロ転がってるし！

「でもなんで警察なんかに行くんだ？」

「家の鍵を落としてな。拾われてねえか確かめに」

「それだけ！？」

「それだけとはなんだ、真冬。部屋に入れねえんだぞ、寒みいだろ
うが」

「だからってなんで私達まで！？なんか私達が悪いことしたみたい
じゃん！-」

「いいじゃねえか。どうせ暇だろ」

うつわ、事実なだけに反論できない！

でも警察なんて行きたくない。私、前科（喧嘩してたら逃げ遅れて
捕まった）あるしね！

「あ、モールス」

と、前から来る見慣れた人。

「あー、番長じゃないですか！」

番長の桶川響太郎。コンクリ粉砕できる鉄拳の持ち主で趣味はモールス。

私も趣味モールス。

ビバ・モールス仲間！！

そして番長はねこまたさんていう、よく分からないキャラクターが大好きです。

思考がメルヘン。

「番長、こんな時間に何してたんですか？」

「いや、映画を観に」

なるほど、ねこまたさんの映画ねきつと！

「てめえらは何して」

その時だった。

「キヤー！！」

通行人みんな、私達の頭上を見て、誰かが叫んだ。

「な、なに！？」

あ、やばっ。

鉄骨

ガシャアアアン！！

はい、気を失いました。

……ってなにこれ！！

占い外れてんじゃん！！

私のシャイニンな高校生活は！？

死んだの？私死んだの！？

何とか言いつてよ！ジョニー！

「　　っは！」

目が覚めた。

あれ？夢……？

「あ、起きた」

「ほんとだ！」

私の顔を覗いてるお二人さん。一人は黒髪に一人は茶髪の女の子。

シャ、シャイニン！

「あたし親父呼んでくる」

「あたしも行くー！」

走っていく姿を可愛いなあ！と思いつつ。

ここはどこなんだ！

「あれ、あんた起きたのか」

ガチャッと入ってきたのは同い年くらいの男の子。

髪がオレンジ色だ……

もしかしてヤンキーなのかな？

「言っとくけど、コレ自毛だからな」

なんか早坂くんに似てなくもない……気がしなくもない。

「俺は黒崎一護。あんたの名は？」

な、

「もしかして生き別れのお兄ちゃん！？」

「なんでそうなるんだよ！！」

「い、痛い！！怪我人をぶつちやいけないんだよ！！」

「あ、悪い……で、あんたの名前」

「黒崎真冬。よろしくね！お兄ちゃん！」

「誰がお兄ちゃんだー！！」

拝啓、母上様。

なんか面白いことになりそうです。

#1・始まり（後書き）

とりあえず始めました。

それぞれキャラの個性をうまく書けたらいいな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8319y/>

CHAOS!!

2011年11月24日20時53分発行